

平成30年2月期 第3四半期決算説明資料

平成30年1月17日



協立情報通信株式会社

(証券コード：3670)

連結業績ハイライト

モバイル事業の利益率改善により、前年同期比 増収増益
一方で八丁堀移転に伴う一時的費用が直近の利益を圧迫

(百万円)

【売上高】

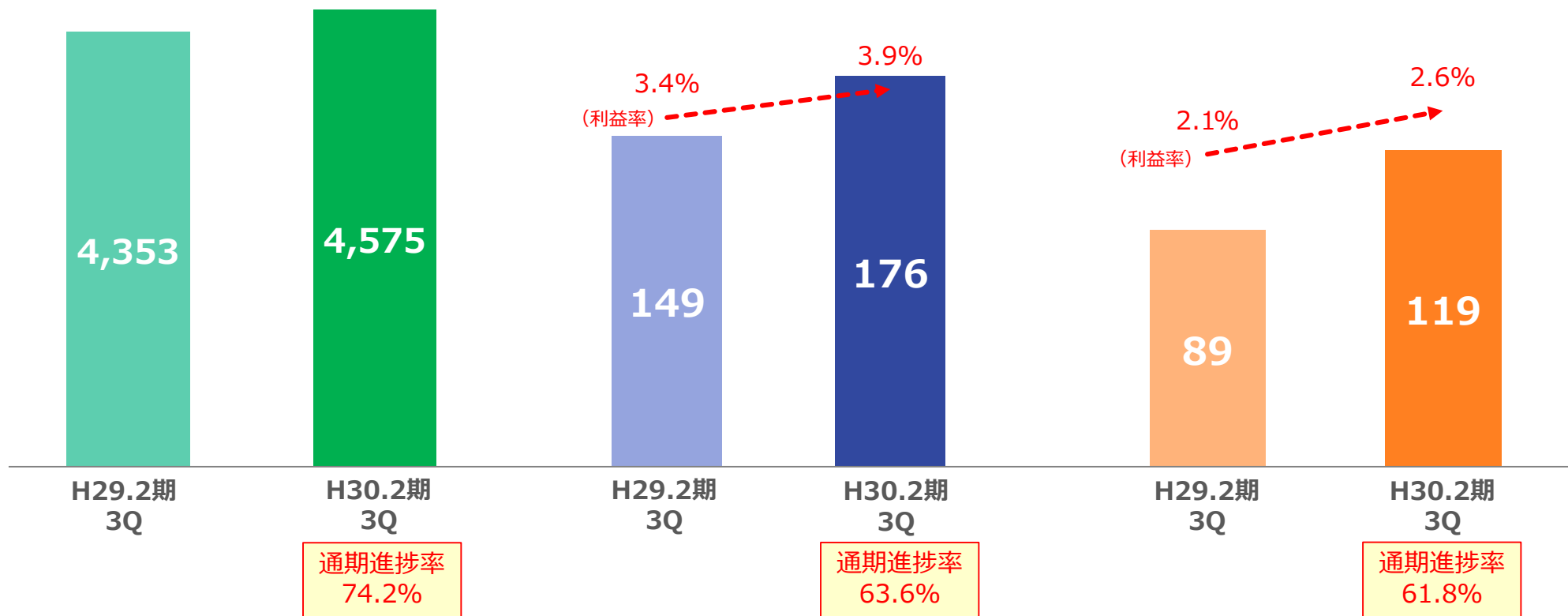
【営業利益】

【親会社株主に帰属する四半期純利益】

5.1%増

18.6%増

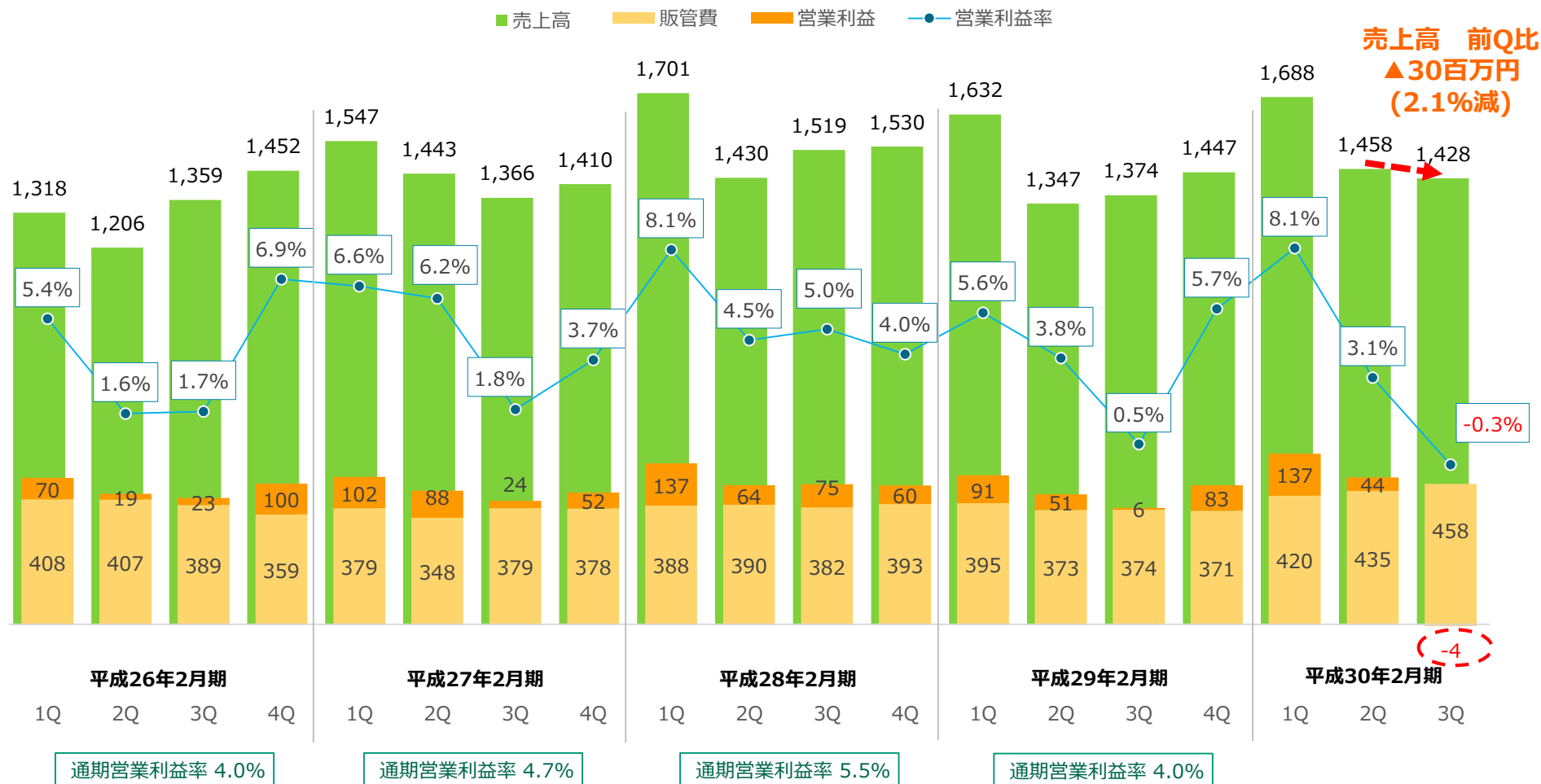
34.0%増



(注) 平成29年2月期第4四半期より連結決算に移行しているため、平成29年2月期第3四半期は当社単体の数値を使用

四半期連結業績の推移

販管費の増加を吸収できず3Qは営業赤字を計上

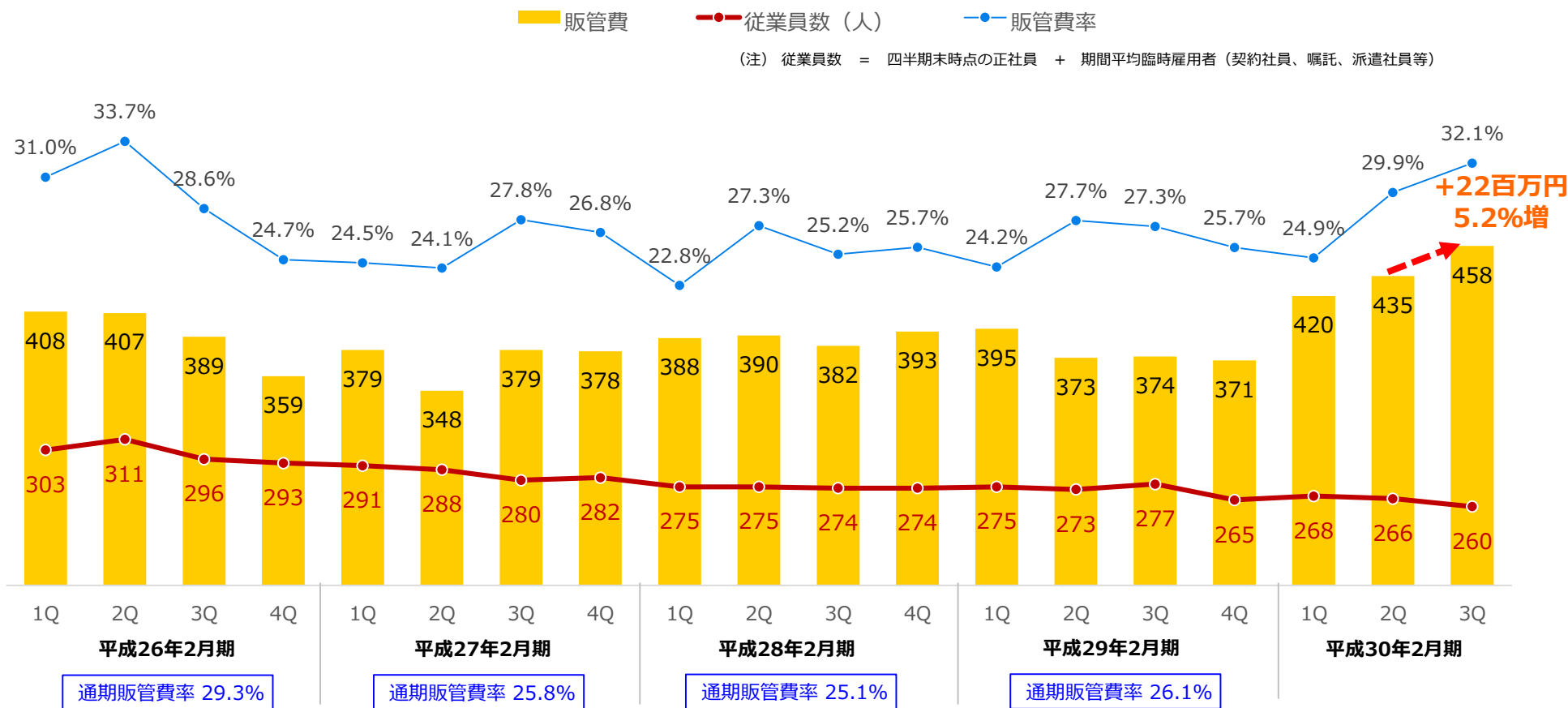


(注) 平成29年2月期第4四半期より連結決算に移行しているため、それ以前は当社単体の数値を使用

販管費と人員の推移

広告費、賃借料、消耗品費等の移転関連費用が増加 派遣費用は高止まり

(単位：百万円)



(注) 平成29年2月期第4四半期より連結決算に移行しているため、それ以前は当社単体の数値を使用

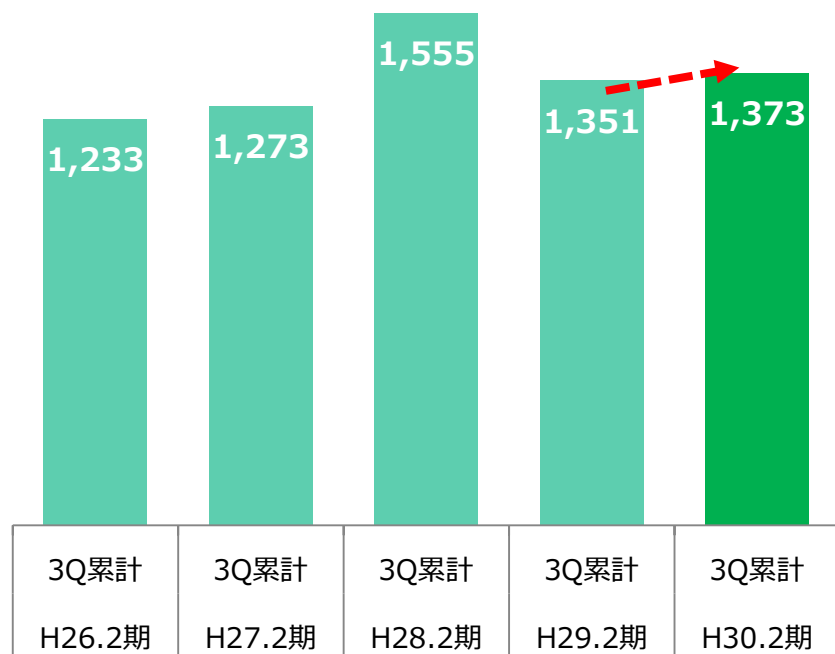
ソリューション事業

ソリューション事業 <前年同期比>

情報創造コミュニティへの投資が先行し、増収減益

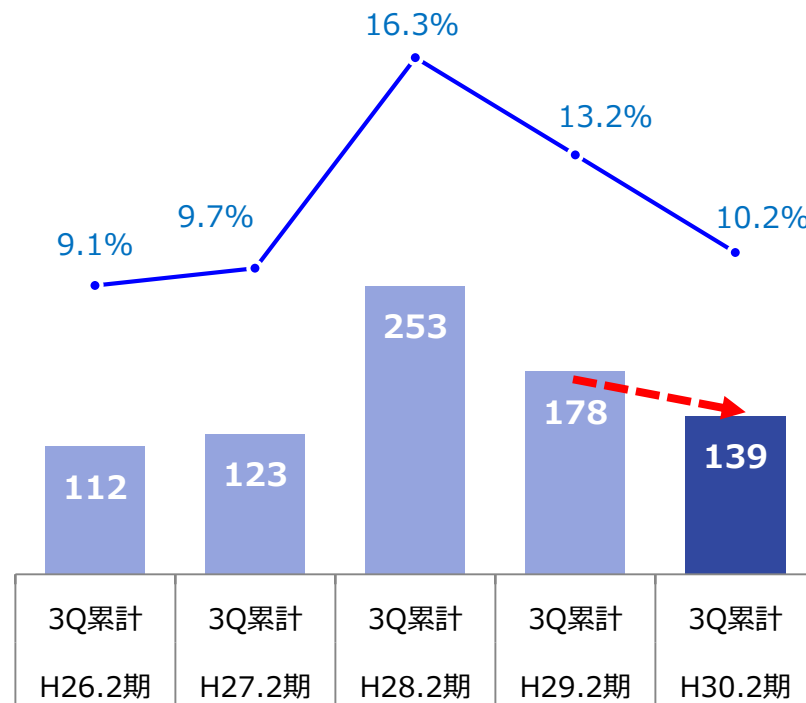
【売上高】

+21百万円 (1.6%増)



【営業利益・営業利益率】

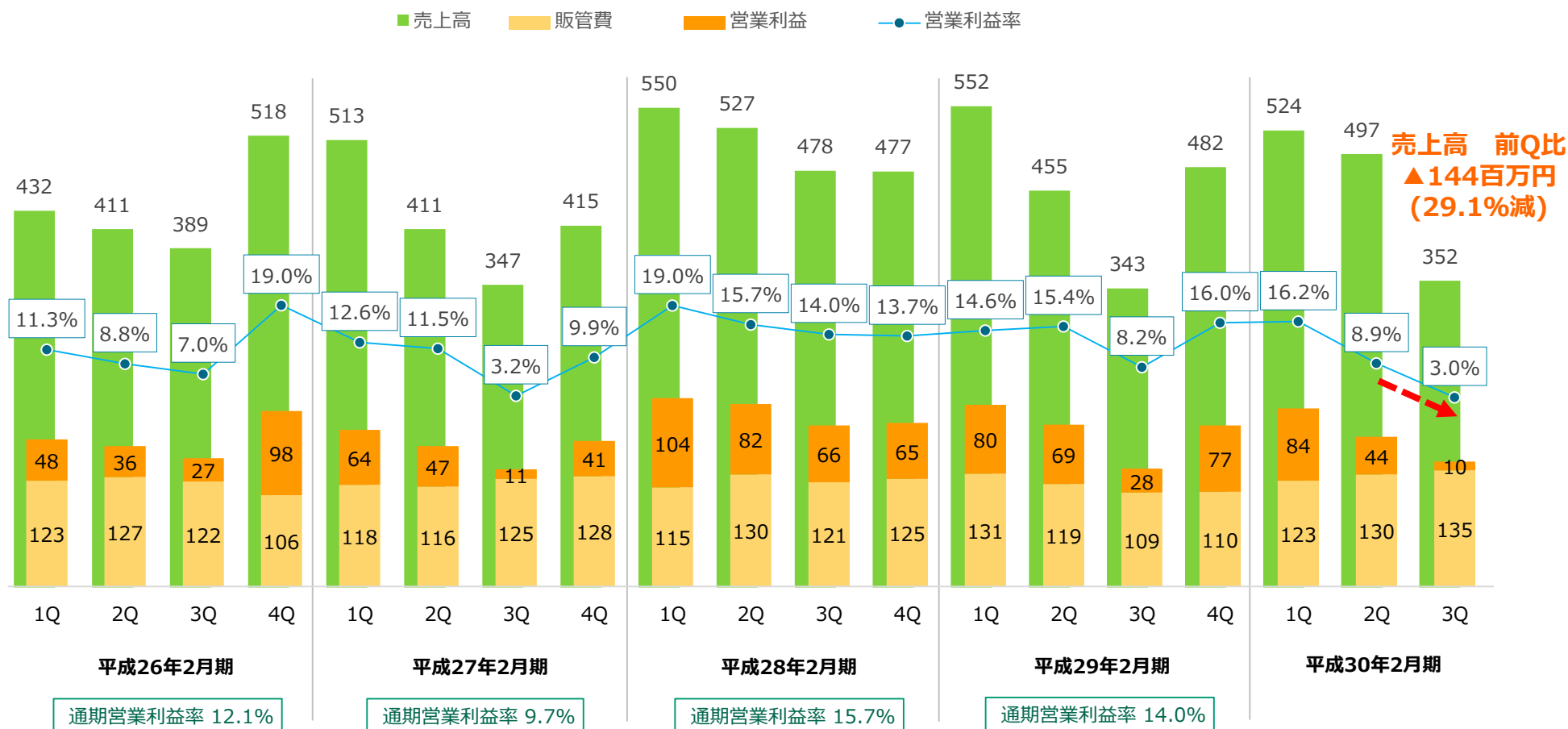
▲39百万円 (22.1%減)



(注) 平成29年2月期第4四半期より連結決算に移行しているため、それ以前は当社単体の数値を使用

ソリューション事業 <四半期毎の推移>

販管費増により利益率が5.9ポイント低下（前Q比）



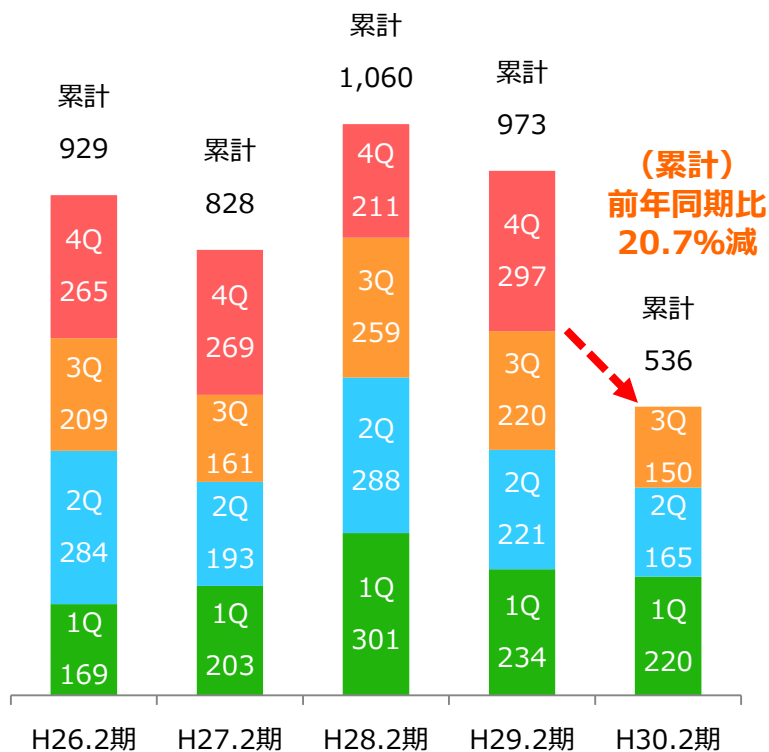
(注) 平成29年2月期第4四半期より連結決算に移行しているため、それ以前は当社単体の数値を使用

ソリューション事業 <営業案件の受注高と受注残高>

各種フェアやイベントをトリガーにした案件創出が課題

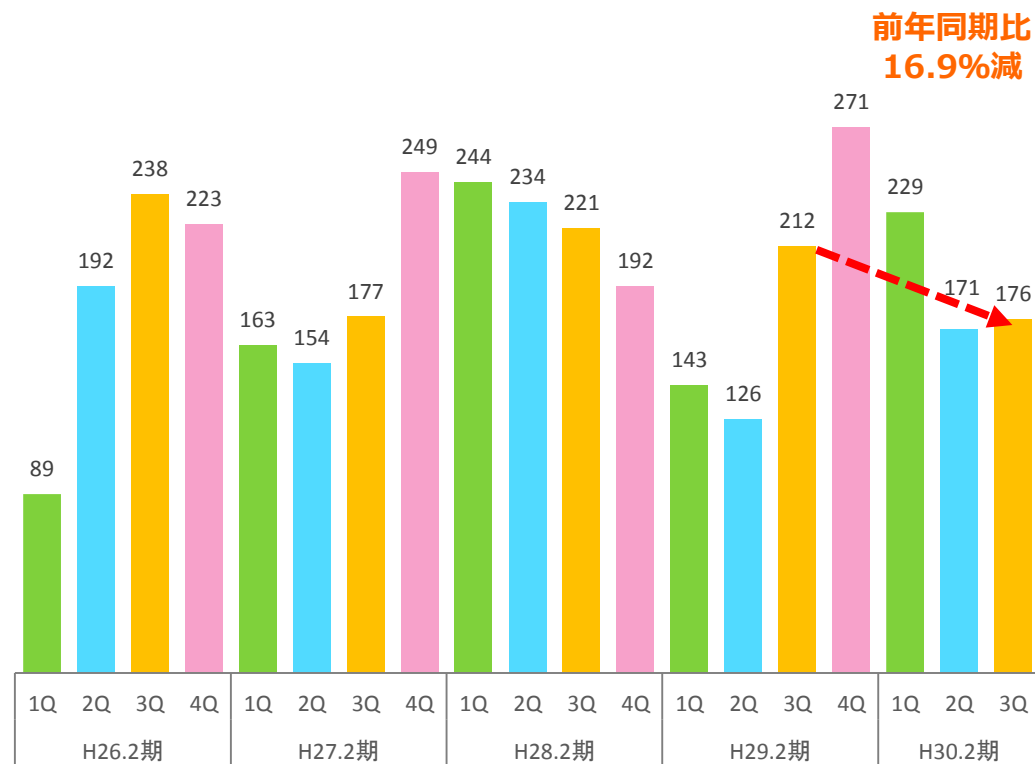
【受注高の推移】

(単位：百万円)



【四半期末時点の受注残高の推移】

(単位：百万円)



(注) 平成29年2月期第4四半期より連結決算に移行しているため、それ以前は当社単体の数値を使用

首都圏で「クラウド活用実践フェア」を順次開催

クラウドサービスの導入事例をもとに、活用効果を知る・体感する1日

開催内容の一例

セミナープログラム	
第1部 13:30 ～ 14:15	<p>ドコモBizプラで働き方を改革 いつでもどこでも内線電話！</p> <p>(講師) NTTドコモ</p> <p>いつでも、どこでも内線電話を実現するのが、NTTドコモ「オフィスリンク」サービスです。電話交換機（PBX）と連携させることにより、保留応答、内線転送はもとより、事務所の電話番号を携帯電話で応答も可能です。オフィスリンク&ビジネスプラスでコミュニケーションの充実化を実現した事例をご紹介します。</p>
(休憩：15分)	
第2部 14:30 ～ 15:15	<p>中堅中小企業のクラウド活用効果に迫る！</p> <p>(講師) 協立情報通信</p> <p>クラウドを活用し、業務効果を見出されたお客様事例をもとに、導入から活用運用の要点をご紹介します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; width: 20%;"> <p>1 業務システムをクラウドで運用！ 奉行+Azure</p> </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; width: 20%;"> <p>2 現場の業務サイボウズで現場日報を！ 状況をリアル情報化</p> </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; width: 20%;"> <p>3 グループ会社間の連絡コミュニケーション Office 365</p> </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; width: 20%;"> <p>4 複数企業でのプロジェクト進行管理を kintoneで</p> </div> </div>
(休憩：15分)	
第3部 15:30 ～ 16:30	<p>様々なクラウドサービスを融合活用して「働き方改革」を実現！</p> <div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>業務の合理化と情報化には 奉行クラウドサービス</p> <p>(講師) オービックビジネスコンサルタント</p> <p>「奉行流 働き方改革」は、業務にかかる時間を減らすことで、働き方改革を実現します。それを実現するための奉行クラウドサービスと、社内で推進するヒントと効果的な取り組み手法についてご紹介します。</p> </div> <div style="flex: 1; border-left: 1px dashed gray; padding-left: 10px;"> <p>新サービス“Microsoft 365”で どこでも仕事を実現！</p> <p>(講師) 日本マイクロソフト</p> <p>クラウドやモバイル活用で、「どこでも仕事ができる環境」が実現すると同時に、重要な情報にアクセスできる「社外のPC、モバイル端末」が増えています。そこで、セキュリティを強化しつつ、先進の情報活用を実現する「Microsoft 365」の活用と運用について、デモンストレーションを交えてご紹介いたします。</p> </div> </div>

第1弾

埼玉会場

2018年1月19日(金) 13:30～17:00
NTTドコモ埼玉ビル3階
最寄り駅：JR線 さいたま新都心駅

第2弾

東京会場

2018年1月26日(金) 13:30～17:00
情報創造コミュニティー
最寄り駅：東京メトロ日比谷線 八丁堀駅

第3弾

横浜会場

2018年2月9日(金) 13:30～17:00
神奈川中小企業センタービル
最寄り駅：JR線 関内駅

第4弾

新宿会場

2018年2月14日(水) 13:30～17:00
新宿マインズタワー15階
最寄り駅：JR線 新宿駅

Kic - Microsoft 365 Business 活用サポートサービスの提供を開始

「Microsoft 365 Business」等の最新のクラウドサービスやデバイス環境を体験できる「クラウド活用支援センター」としての機能を情報創造コミュニティに整備

中堅・中小企業のクラウド化をワンストップでサポート



【 Kic - Microsoft 365 Business 活用サポートサービス 】

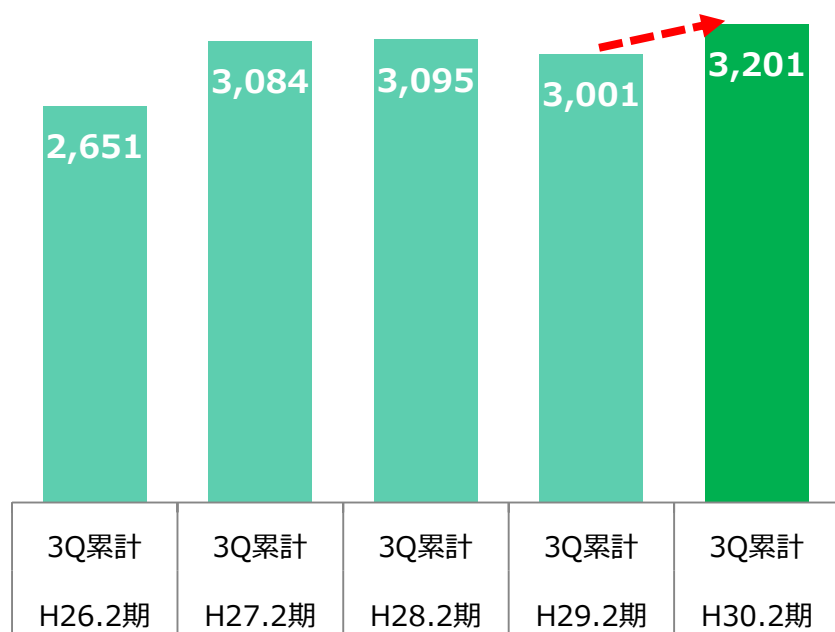
モバイル事業

モバイル事業 <前年同期比>

インセンティブ増額に加え
 新型iPhone発売前の買い控えの影響も限定的で増収増益

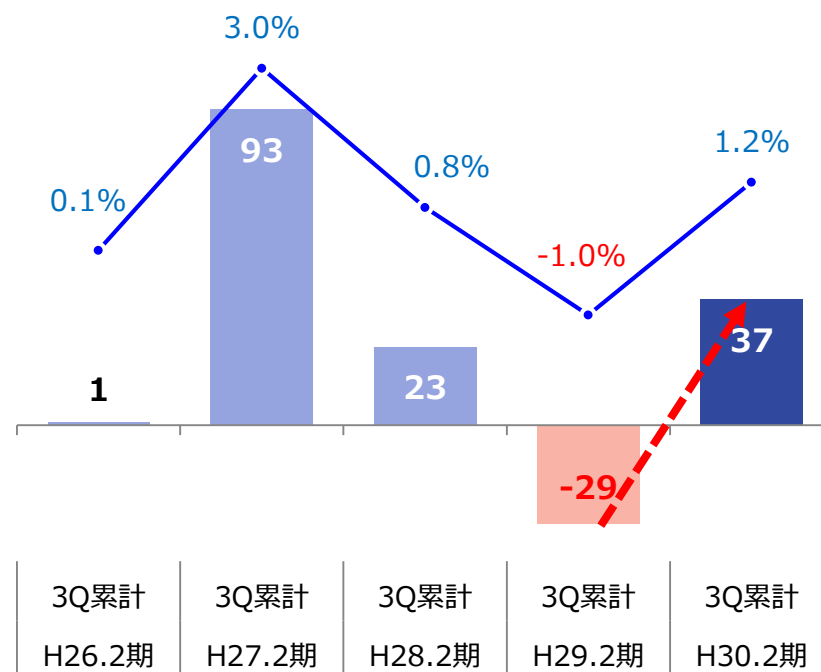
【売上高】

+200百万円 (6.7%増)



【営業利益・営業利益率】

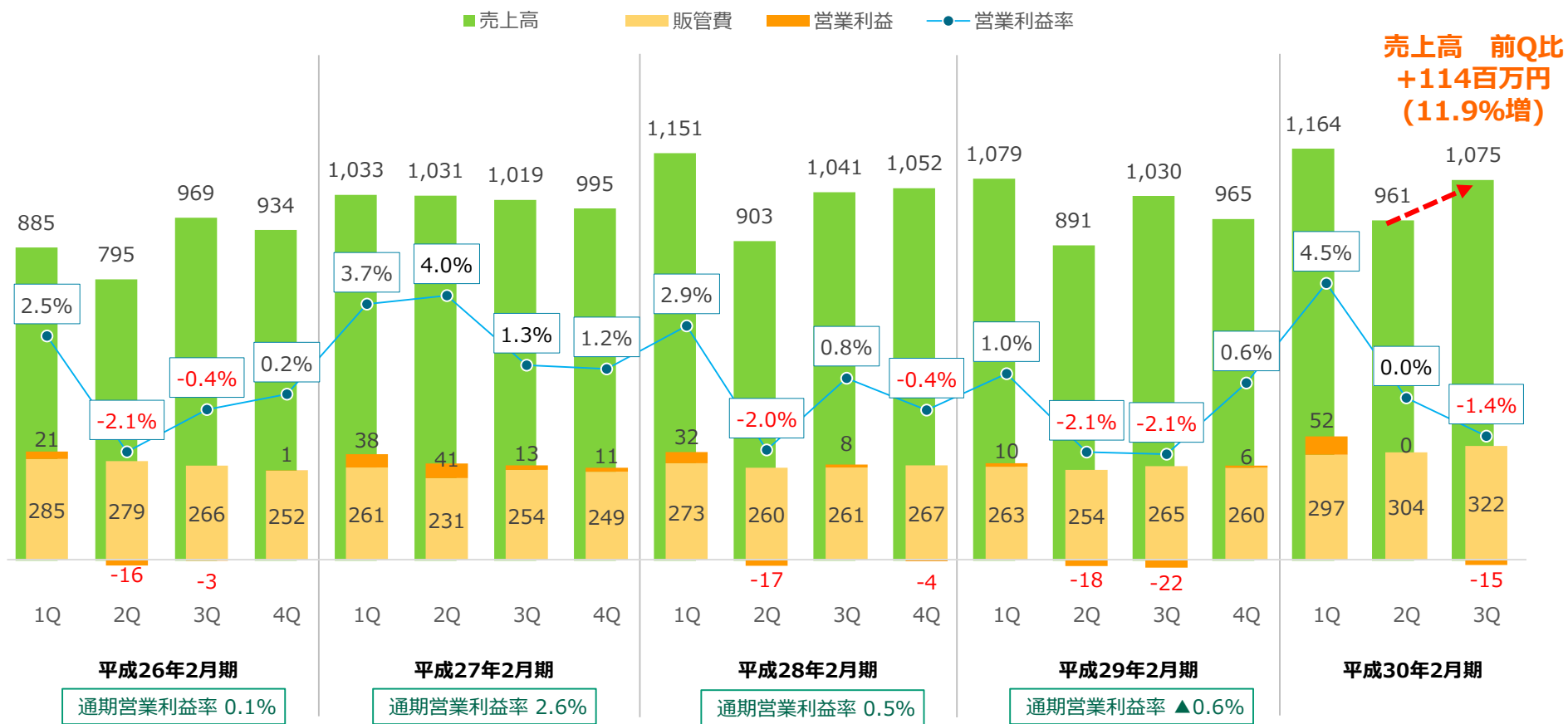
+67百万円



(注) 平成29年2月期第4四半期より連結決算に移行しているため、それ以前は当社単体の数値を使用

モバイル事業 <四半期毎の推移>

DS八丁堀店の移転やDS三郷店の改装に伴う 一時的費用が発生し利益面は後退



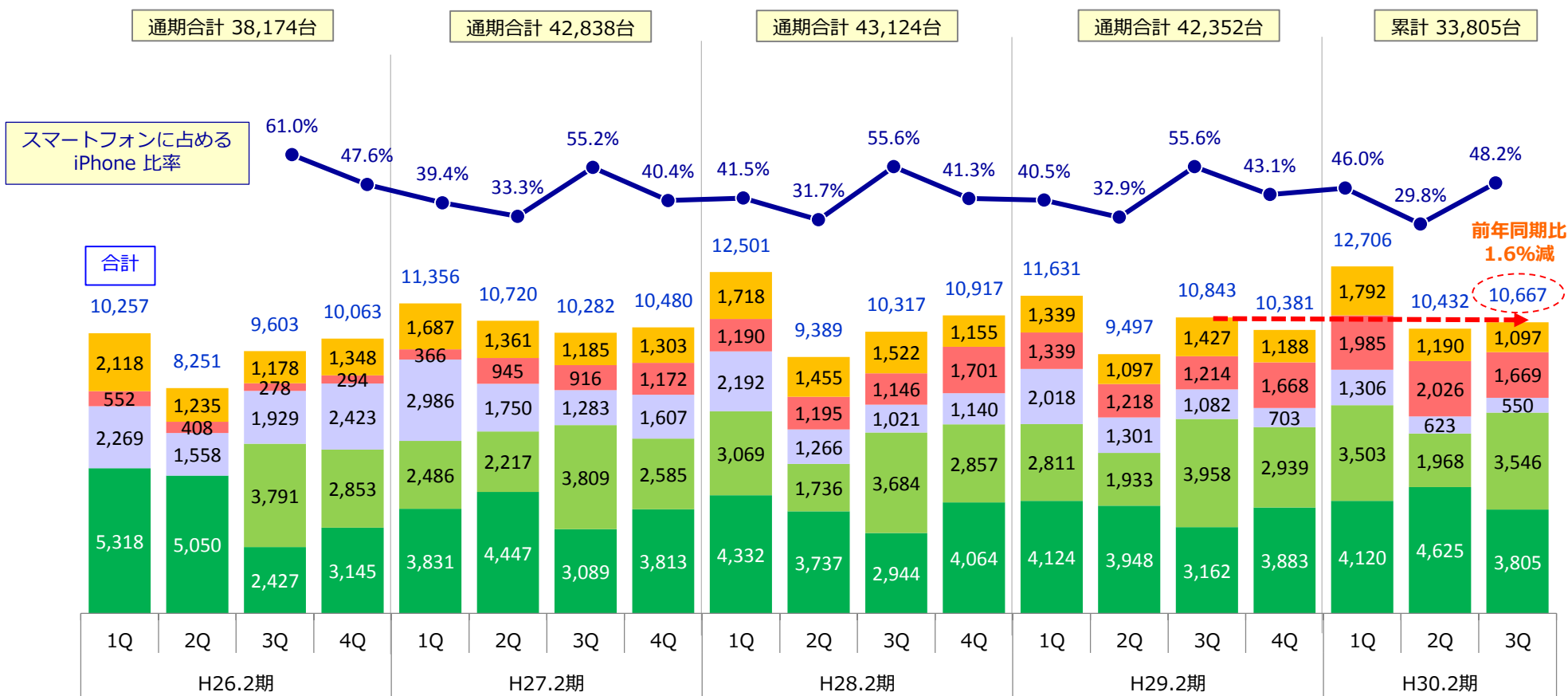
(注) 平成29年2月期第4四半期より連結決算に移行しているため、それ以前は当社単体の数値を使用

モバイル事業 <携帯電話(注1) 販売台数>

Android端末やタブレットが堅調 年間累計は前年を上回るペース

■スマホ ■iPhone ■Fフォン ■タブレット ■その他(注2)

(単位：台)



注1. 携帯電話：スマートフォン、フィーチャーフォン、タブレット、データカードなど

注2. 「その他」は、データカード、らくらくホン、キッズケータイなど

ご参考資料

連結業績サマリー

(百万円)

	平成29年2月期 第3四半期		平成30年2月期 第3四半期				(参考) 平成30年2月期 通期予想
	金額	売上高比	金額	売上高比	前年 同期比	通期 進捗率	
売上高	4,353	—	4,575	—	+5.1%	74.2%	6,170
売上総利益	1,292	29.7%	1,491	32.6%	+15.4%	—	—
販売費及び一般管理費	1,143	26.3%	1,314	28.7%	+14.9%	—	—
営業利益	149	3.4%	176	3.9%	+18.6%	63.6%	278
経常利益	149	3.4%	181	4.0%	+21.1%	64.1%	283
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	89	2.1%	119	2.6%	+34.0%	61.8%	194
1株当たり 四半期(当期)純利益(円)	74.75	—	100.13	—	+34.0%	61.8%	162.11

(注) 平成29年2月期第4四半期より連結決算に移行しているため、平成29年2月期第3四半期は当社単体の数値を使用

要約連結B/S <資産の部>

(単位：百万円)

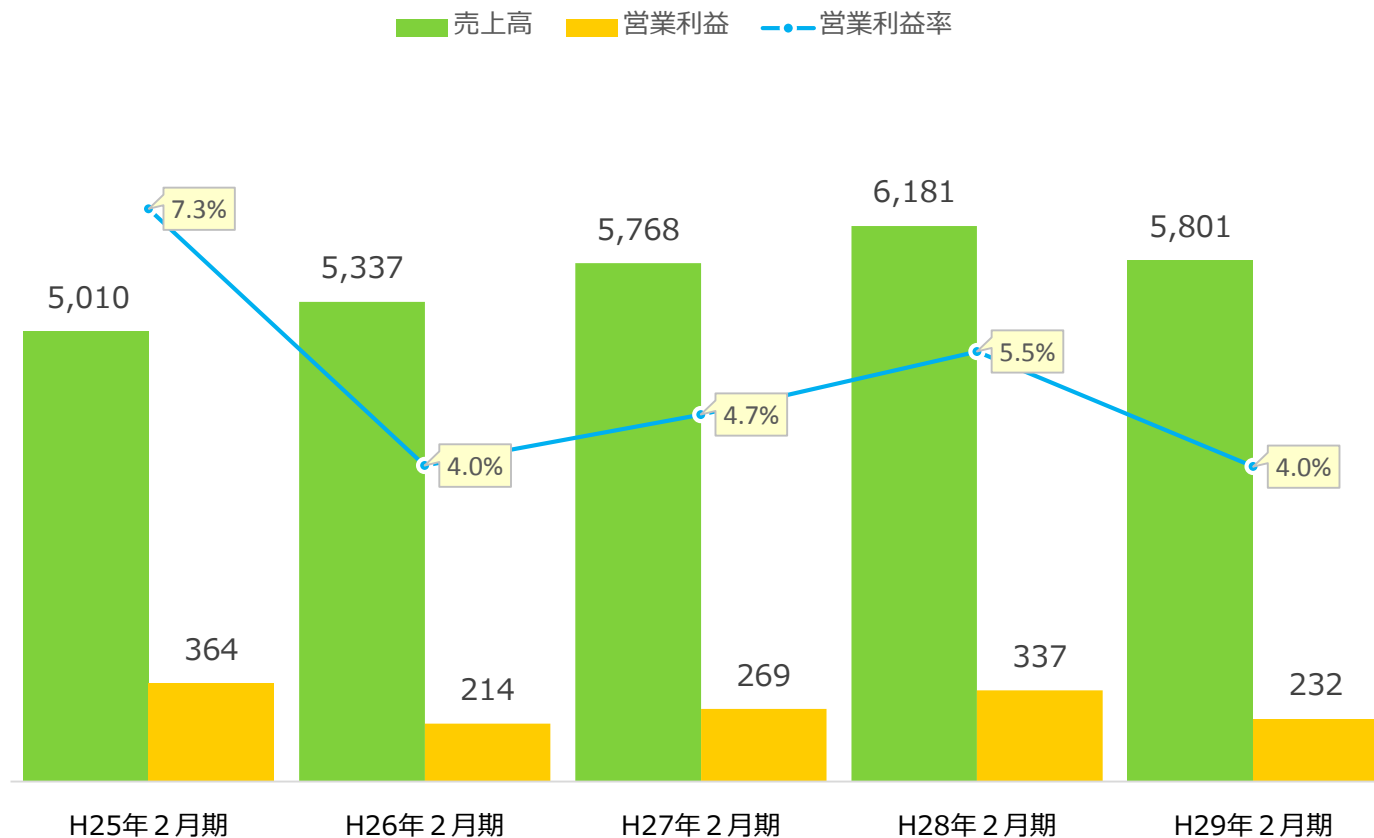
		平成29年2月末時点		平成29年11月末時点		
			構成比		構成比	前年度末比
流動資産	現金及び預金	536	22.3%	614	23.3%	+78
	受取手形及び売掛金	550	22.9%	529	20.1%	-21
	棚卸資産	141	5.9%	216	8.2%	+74
	その他	155	6.5%	187	7.1	+31
固定資産	有形固定資産	594	24.7%	666	25.3%	+71
	無形固定資産	4	0.2%	3	0.1%	-0
	投資その他の資産	422	17.6%	421	16.0%	-1
資産合計		2,405	100.0%	2,639	100.0%	+233

要約連結B/S<負債・純資産の部>

(単位：百万円)

		平成29年 2 月末時点		平成29年11月末時点		
			構成比		構成比	前年度末比
流動負債	支払手形及び買掛金	391	16.3%	450	17.1%	+58
	1年内返済予定の長期借入金	9	0.4%	9	0.4%	-
	1年内償還予定の社債	70	2.9%	60	2.3%	-10
	未払法人税等	19	0.8%	55	2.1%	+36
	賞与引当金	60	2.5%	99	3.8%	+39
	その他	199	8.3%	246	9.4%	+47
固定負債	長期借入金	41	1.7%	34	1.3%	-7
	退職給付に係る負債	229	9.5%	236	8.9%	+6
	その他	108	4.5%	109	4.1%	+1
負債合計		1,128	46.9%	1,301	49.3%	+172
株主資本	資本金	203	8.4%	203	7.7%	-
	資本剰余金	147	6.1%	147	5.6%	-
	利益剰余金	929	38.6%	989	37.5%	+59
	自己株式	△ 5	-0.2%	△ 5	-0.2%	-
その他の包括利益累計額		1	0.1%	2	0.1%	+0
純資産合計		1,276	53.1%	1,337	50.7%	+60
負債純資産合計		2,405	100.0%	2,639	100.0%	+233

年間業績の推移

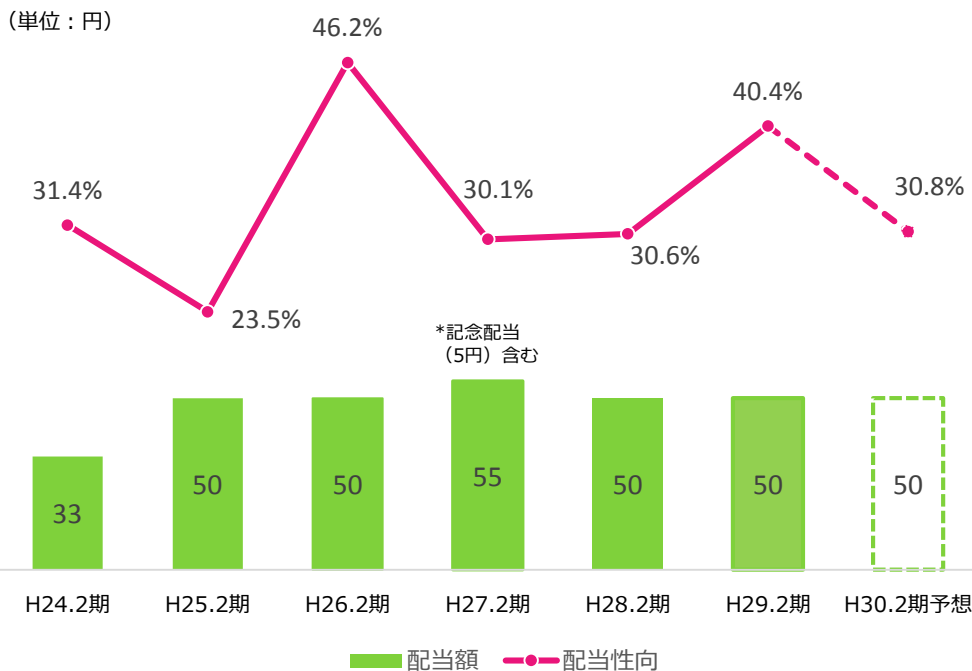


(注) 平成29年2月期より連結決算に移行しているため、それ以前は当社単体の数値を使用

株主還元（配当）

基本方針…株主への利益還元を第一とし、継続的かつ安定的な配当を実施
配当水準…配当性向30～40%程度を目途に、業績連動による適正な配当とともに業績悪化時も一定水準を維持

【配当額と配当性向の推移】



【最近の株価レンジと配当利回りのシミュレーション】

株価 (円)	配当利回り
1,900	2.63%
1,920	2.60%
1,940	2.58%
1,960	2.55%
1,980	2.53%
2,000	2.50%
2,020	2.48%
2,040	2.45%
2,060	2.43%
2,080	2.40%
2,100	2.38%

(注) 平成24年9月27日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。本資料は株式分割後の株式数に基づきして表記しております。また、平成27年2月期の配当金は、創業50周年記念配当金5円を含んでおります。

会社概要

【創 業】	昭和39年6月（昭和40年6月設立）
【本 社】	東京都港区浜松町一丁目9番10号
【資本金】	203,225,000円
【上 場】	平成25年2月 東証JASDAQ上場（3670）
【従業員】	260名（平成29年11月末現在）

【事業所】

■ 情報創造コミュニティー

東京都中央区八丁堀2-23-1 エンパイヤビル 2F

■ 新宿支店

東京都渋谷区代々木2-7-7 南新宿277ビル 3F

■ ドコモショップ

東京・埼玉で6店舗運営

【連結子会社】

神奈川協立情報通信株式会社（平成28年12月設立）



情報をつくる、未来をひらく。

協立情報通信株式会社

本資料に関するお問い合わせ先

管理本部 総務グループ IR担当

電話 03-3433-0247

E-mail ir@kccnet.co.jp

免責事項

- ・本資料は、情報提供の実を目的としたものであり、特定の商品についての募集・投資勧誘・営業等を目的としたものではありません。
- ・本資料で提供している情報は万全を期していますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- ・本資料に記載されている見解・見通し・予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、今後、予告なしに変更される可能性があります。
- ・過去の情報は実績であり、将来の成果を予想するものではありません。
- ・本資料に記載されている会社名及び製品・サービス名等は、該当する各社の商標または登録商標です。